

人文社会科学部 哲学・思想専攻（一貫制博士課程）

専攻共通

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
02DBR05	現代思想III(1)A	1	1.5	1-5					現代思想に関する諸文献を読み、それらが提起する諸論点を、ディスカッションを通して検討する。	2013年度より4年おき開講。
02DBR06	現代思想III(1)B	1	1.5	1-5					引き続き現代思想に関する諸文献を読み、それらが提起する諸論点を、ディスカッションを通して検討する。	2013年度より4年おき開講。
02DBS05	現代思想III(2)A	1	1.5	1-5					現代思想に関する諸文献を読み、それらが提起する諸論点を、ディスカッションを通して検討する。	2014年度より4年おき開講。
02DBS06	現代思想III(2)B	1	1.5	1-5					引き続き現代思想に関する諸文献を読み、それらが提起する諸論点を、ディスカッションを通して検討する。	2014年度より4年おき開講。
02DBT05	現代思想III(3)A	1	1.5	1-5	春ABC	水3		五十嵐 沙千子	現代思想に関する諸文献を読み、それらが提起する諸論点を、ディスカッションを通して検討する。	2015年度より4年おき開講。
02DBT06	現代思想III(3)B	1	1.5	1-5	秋ABC	水3		五十嵐 沙千子	引き続き現代思想に関する諸文献を読み、それらが提起する諸論点を、ディスカッションを通して検討する。	2015年度より4年おき開講。

哲学分野

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
02DBA03	哲学原論演習(1)A	2	1.5	1-5					大学院生の研究能力の向上と自己の研究テーマの明確化を目的として、各院生の研究発表とそれを巡るディスカッションをセミナー方式で行う。各院生は本演習での発表を、自分の長期的研究プランの中に位置づけて、効果的に活用することが望まれる。哲学分野所属の院生は原則として全員履修すること。	他専攻学生は履修できない。 2013年度より4年おき開講。
02DBA04	哲学原論演習(1)B	2	1.5	1-5					大学院生の研究能力の向上と自己の研究テーマの明確化を目的として、各院生の研究発表とそれを巡るディスカッションをセミナー方式で行う。各院生は本演習での発表を、自分の長期的研究プランの中に位置づけて、効果的に活用することが望まれる。哲学分野所属の院生は原則として全員履修すること。	他専攻学生は履修できない。 2013年度より4年おき開講。
02DBA05	現代哲学I(1)A	1	1.5	1-5					L.ウイトゲンシュタインの『哲学探究』(Philosophische Untersuchungen)をドイツ語原文テキストで読む。	2013年度より4年おき開講。
02DBA06	現代哲学I(1)B	1	1.5	1-5					L.ウイトゲンシュタインの『哲学探究』(Philosophische Untersuchungen)をドイツ語原文テキストで読む。	2013年度より4年おき開講。
02DBA11	現代哲学演習(1)A	2	1.5	1-5					英米系の現代哲学(分析哲学)の代表的な著作・論文を読みながら、現代哲学の諸問題を検討する。	2013年度より4年おき開講。
02DBA13	東洋哲学I(1)A	1	1.5	1-5					『朱子語類』の『論語』「泰白」篇の部分を漢文原典で講読する。	2013年度より4年おき開講。
02DBA14	東洋哲学I(1)B	1	1.5	1-5					『朱子語類』の『論語』「泰白」篇の部分を漢文原典で講読する。	2013年度より4年おき開講。
02DBA17	東洋哲学演習(1)A	2	1.5	1-5					『朱子語類』の『論語』「泰白」篇の部分を漢文原典で講読し諸問題を検討する。	2013年度より4年おき開講。
02DBA18	東洋哲学演習(1)B	2	1.5	1-5					『朱子語類』の『論語』「泰白」篇の部分を漢文原典で講読し諸問題を検討する。	2013年度より4年おき開講。
02DBA21	西洋哲学史I(1)A	1	1.5	1-5						2013年度より4年おき開講。
02DBA22	西洋哲学史I(1)B	1	1.5	1-5						2013年度より4年おき開講。
02DBA23	西洋哲学史I演習(1)A	2	1.5	1-5					デカルトの『方法序説』をフランス語原典で講読する。	フランス語既習者を対象とする。 2013年度より4年おき開講。
02DBA24	西洋哲学史I演習(1)B	2	1.5	1-5					デカルトの『方法序説』をフランス語原典で講読する。	フランス語既習者を対象とする。 2013年度より4年おき開講。
02DBA25	西洋哲学史II(1)A	1	1.5	1-5					カントの『純粋理性の批判』を読みながら、西洋哲学史の諸問題を検討する。	2013年度より4年おき開講。
02DBA26	西洋哲学史II(1)B	1	1.5	1-5					カントの『純粋理性の批判』を読みながら、引き続き西洋哲学史の諸問題を検討する。	2013年度より4年おき開講。
02DBA27	西洋哲学史II演習(1)A	2	1.5	1-5					カントの『道徳形而上学の基礎づけ』を現代の政治哲学等と突き合わせて検討する。	2013年度より4年おき開講。
02DBA28	西洋哲学史II演習(1)B	2	1.5	1-5					カントの『道徳形而上学の基礎づけ』を現代の政治哲学等と突き合わせて引き続き検討する。	2013年度より4年おき開講。
02DBA31	西洋哲学史III演習(1)A	2	1.5	1-5					アリストテレス『ニコマコス倫理学』を読む。テキストはOCTを用い、Rossの英訳とBurnet, Tricotのコメンタリー等を参照する。	2013年度より4年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DBA32	西洋哲学史III演習(1)B	2	1.5	1-5					アリストテレス『ニコマコス倫理学』を読む。テキストはOCTを用い、Rossの英訳とBurnet, Triicotのコメントリー等を参照する。	2013年度より4年おき開講。
02DBD03	哲学原論演習(2)A	2	1.5	1-5					大学院生の研究能力の向上と自己の研究テーマの明確化を目的として、各院生の研究発表とそれを巡るディスカッションをセミナー方式で行う。各院生は本演習での発表を、自分の長期的研究プランの中に位置づけて、効果的に活用することが望まれる。哲学分野所属の院生は原則として全員履修すること。	2014年度より4年おき開講。他専攻学生は履修できない。
02DBD04	哲学原論演習(2)B	2	1.5	1-5					大学院生の研究能力の向上と自己の研究テーマの明確化を目的として、各院生の研究発表とそれを巡るディスカッションをセミナー方式で行う。各院生は本演習での発表を、自分の長期的研究プランの中に位置づけて、効果的に活用することが望まれる。哲学分野所属の院生は原則として全員履修すること。	2014年度より4年おき開講。他専攻学生は履修できない。
02DBD05	現代哲学I(2)A	1	1.5	1-5					L.ウイトゲンシュタインの『哲学探究』Philosophische Untersuchungenをドイツ語原文で読む。この書物で示されたウイトゲンシュタインの成熟した思想を捉えることを第一の目的とする。同時に“Bemerukung”と呼ばれる独立した小節が重層的な内容的連関によりつながる彼のテキスト構造の解説、doch, ja, aber, 等の心態詞を多用した彼の文体と思想の相関の解明も目的とする。	2014年度より4年おき開講。
02DBD06	現代哲学I(2)B	1	1.5	1-5					L.ウイトゲンシュタインの『哲学探究』Philosophische Untersuchungenをドイツ語原文で読む。この書物で示されたウイトゲンシュタインの成熟した思想を捉えることを第一の目的とする。同時に“Bemerukung”と呼ばれる独立した小節が重層的な内容的連関によりつながる彼のテキスト構造の解説、 doch, ja, aber, 等の心態詞を多用した彼の文体と思想の相関の解明も目的とする。	2014年度より4年おき開講。
02DBD11	現代哲学演習(2)A	2	1.5	1-5					英米系の現代哲学(分析哲学)の代表的な著作・論文を読みながら、現代哲学の諸問題を検討する。	2014年度より4年おき開講。
02DBD13	東洋哲学I(2)A	1	1.5	1-5					『朱子語類』の『論語』「泰伯」篇の部分を漢文原典で講読する。	2014年度より4年おき開講。
02DBD14	東洋哲学I(2)B	1	1.5	1-5					『朱子語類』の『論語』「泰伯」篇の部分を漢文原典で講読する。	2014年度より4年おき開講。
02DBD17	東洋哲学演習(2)A	2	1.5	1-5					『朱子語類』の『論語』「泰伯」篇の部分を漢文原典で講読し諸問題を検討する。	2014年度より4年おき開講。
02DBD18	東洋哲学演習(2)B	2	1.5	1-5					『朱子語類』の『論語』「泰伯」篇の部分を漢文原典で講読し諸問題を検討する。	2014年度より4年おき開講。
02DBD21	西洋哲学史I(2)A	1	1.5	1-5					シェリングの『人間的自由の本質』を精読しながら、質疑応答を行う。	2014年度より4年おき開講。
02DBD22	西洋哲学史I(2)B	1	1.5	1-5					シェリングの『人間的自由の本質』を精読しながら、質疑応答を行う。	2014年度より4年おき開講。
02DBD23	西洋哲学史I演習(2)A	2	1.5	1-5					シャロンのDe la sagesseをフランス語原典で講読し、諸問題を考察する。	2014年度より4年おき開講。
02DBD24	西洋哲学史I演習(2)B	2	1.5	1-5					シャロンのDe la sagesseをフランス語原典で講読し、諸問題を考察する。	2014年度より4年おき開講。
02DBD25	西洋哲学史II(2)A	1	1.5	1-5					カントの『純粋理性の批判』を読みながら、西洋哲学史の諸問題を検討する。	2014年度より4年おき開講。
02DBD26	西洋哲学史II(2)B	1	1.5	1-5					カントの『純粋理性の批判』を読みながら、西洋哲学史の諸問題を検討する。	2014年度より4年おき開講。
02DBD27	西洋哲学史II演習(2)A	2	1.5	1-5					カントの『道徳形而上学の基礎づけ』を現代の政治哲学等と突き合わせて検討する。	2014年度より4年おき開講。
02DBD28	西洋哲学史II演習(2)B	2	1.5	1-5					カントの『道徳形而上学の基礎づけ』を現代の政治哲学等と突き合わせて検討する。	2014年度より4年おき開講。
02DBD31	西洋哲学史III演習(2)A	2	1.5	1-5						2014年度より4年おき開講。
02DBD32	西洋哲学史III演習(2)B	2	1.5	1-5						2014年度より4年おき開講。
02DBG03	哲学原論演習(3)A	2	1.5	1-5	春ABC	月5		鬼界 彰夫, 橋本 康二, 檜垣 良成	大学院生の研究能力の向上と自己の研究テーマの明確化を目的として、各院生の研究発表とそれを巡るディスカッションをセミナー方式で行う。各院生は本演習での発表を、自分の長期的研究プランの中に位置づけて、効果的に活用することが望まれる。哲学分野所属の院生は原則として全員履修すること。	2015年度より4年おき開講。
02DBG04	哲学原論演習(3)B	2	1.5	1-5	秋ABC	月5		鬼界 彰夫, 檜垣 良成, 橋本 康二	大学院生の研究能力の向上と自己の研究テーマの明確化を目的として、各院生の研究発表とそれを巡るディスカッションをセミナー方式で行う。各院生は本演習での発表を、自分の長期的研究プランの中に位置づけて、効果的に活用することが望まれる。哲学分野所属の院生は原則として全員履修すること。	2015年度より4年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DBG05	現代哲学I(3)A		1	1.5	1-5	春ABC	木6	鬼界 彰夫	L.ウイトゲンシュタインの『哲学探究』Philosophische Untersuchungen をドイツ語原文で読む。この書物で示されたウイトゲンシュタインの成熟した思想を捉えることを第一の目的とする。同時に"Bemerukung"と呼ばれる独立した小節が重層的な内容的連関によりつながらる彼のテキスト構造の解説、doch, ja, aber, 等の心態詞を多用した彼の文体と思想の相関の解明も目的とする。	2015年度より4年おき開講。
02DBG06	現代哲学I(3)B		1	1.5	1-5	秋ABC	木6	鬼界 彰夫	L.ウイトゲンシュタインの『哲学探究』Philosophische Untersuchungen をドイツ語原文で読む。この書物で示されたウイトゲンシュタインの成熟した思想を捉えることを第一の目的とする。同時に"Bemerukung"と呼ばれる独立した小節が重層的な内容的連関によりつながらる彼のテキスト構造の解説、doch, ja, aber, 等の心態詞を多用した彼の文体と思想の相関の解明も目的とする。	2015年度より4年おき開講。
02DBG11	現代哲学演習(3)A		2	1.5	1-5	春ABC	火3	橋本 康二	英米系の現代哲学(分析哲学)の代表的な著作・論文を読みながら、現代哲学の諸問題を検討する。	2015年度より4年おき開講。
02DBG13	東洋哲学I(3)A		1	1.5	1-5	春ABC	金4	井川 義次	『朱子語類』の『論語』『泰伯』篇の部分を漢文原典で講読する。	2015年度より4年おき開講。
02DBG14	東洋哲学I(3)B		1	1.5	1-5	秋ABC	金4	井川 義次	『朱子語類』の『論語』『泰伯』篇の部分を漢文原典で講読する。	2015年度より4年おき開講。
02DBG17	東洋哲学演習(3)A		2	1.5	1-5	春ABC	金5	井川 義次	『朱子語類』の『論語』『泰伯』篇の部分を漢文原典で講読し諸問題を検討する。	2015年度より4年おき開講。
02DBG18	東洋哲学演習(3)B		2	1.5	1-5	秋ABC	金5	井川 義次	『朱子語類』の『論語』『泰伯』篇の部分を漢文原典で講読し諸問題を検討する。	2015年度より4年おき開講。
02DBG21	西洋哲学史I(3)A		1	1.5	1-5	春ABC	木3	高尾 由子	シェリングの『超越論的観念論の体系』を精読しながら、質疑応答を行う。	2015年度より4年おき開講。
02DBG22	西洋哲学史I(3)B		1	1.5	1-5	秋ABC	木3	高尾 由子	シェリングの『超越論的観念論の体系』を精読しながら、質疑応答を行う。	2015年度より4年おき開講。
02DBG23	西洋哲学史I演習(3)A		2	1.5	1-5	春ABC	水2	津崎 良典	1640年から1641年までにデカルトとメルセンヌのあいだでやり取りされた往復書簡をフランス語ないしラテン語原文に依拠して解説する。	2015年度より4年おき開講。
02DBG24	西洋哲学史I演習(3)B		2	1.5	1-5	秋ABC	水2	津崎 良典	1640年から1641年までにデカルトとメルセンヌのあいだでやり取りされた往復書簡をフランス語ないしラテン語原文に依拠して解説する。	2015年度より4年おき開講。
02DBG25	西洋哲学史II(3)A		1	1.5	1-5	春ABC	月2	檜垣 良成	カントの『純粋理性の批判』を読みながら、西洋哲学史の諸問題を検討する。	2015年度より4年おき開講。
02DBG26	西洋哲学史II(3)B		1	1.5	1-5	秋ABC	月2	檜垣 良成	引き続きカントの『純粋理性の批判』を読みながら、西洋哲学史の諸問題を検討する。	2015年度より4年おき開講。
02DBG27	西洋哲学史II演習(3)A		2	1.5	1-5	春ABC	月1	檜垣 良成	カントの『道徳形而上学の基礎づけ』を現代の政治哲学等と突き合わせて検討する。	2015年度より4年おき開講。
02DBG28	西洋哲学史II演習(3)B		2	1.5	1-5	秋ABC	月1	檜垣 良成	引き続きカントの『道徳形而上学の基礎づけ』を現代の政治哲学等と突き合わせて検討する。	2015年度より4年おき開講。
02DBG31	西洋哲学史III演習(3)A		2	1.5	1-5	春ABC	金4	久保 徹	アリストテレス『ニコマコス倫理学』を読む。テキストはOCTを用い、Rossの英訳とBurnet, Tricotのコメンタリー等を参照する。	2015年度より4年おき開講。
02DBG32	西洋哲学史III演習(3)B		2	1.5	1-5	秋ABC	金4	久保 徹	アリストテレス『ニコマコス倫理学』を読む。テキストはOCTを用い、Rossの英訳とBurnet, Tricotのコメンタリー等を参照する。	2015年度より4年おき開講。

倫理学分野

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DBB11	東洋倫理学II(1)A		1	1.5	1-5				『古事記』上巻(神代の巻)を読む。	2013年度より4年おき開講。
02DBB12	東洋倫理学II(1)B		1	1.5	1-5				『古事記』中・下巻を読む。	2013年度より4年おき開講。
02DBB15	東洋倫理思想史(1)A		1	1.5	1-5				『礼記』を訓む。中国語もしくは訓読いずれによる読解力が必要。	2013年度より4年おき開講。
02DBB16	東洋倫理思想史(1)B		1	1.5	1-5				引き続き『礼記』を訓む。中国語で読み、さらに訓読するので、その双方もしくはいずれかの知識が必要。	2013年度より4年おき開講。
02DBB19	西洋倫理学I(1)A		1	1.5	1-5				ドイツ語で書かれた倫理学のテキストを講読する。今年度はショーベンハウアー『倫理学の二つの根本問題』を読む。	2013年度より4年おき開講。
02DBB20	西洋倫理学I(1)B		1	1.5	1-5				引き続きドイツ語で書かれた倫理学のテキストを講読する。今年度はショーベンハウアー『倫理学の二つの根本問題』を読む。	2013年度より4年おき開講。
02DBB21	西洋倫理学II(1)A		1	1.5	1-5				ハイデガーを中心に、デリダ、ハーバーマスなど現代西洋倫理学の諸問題を論じる。	2013年度より4年おき開講。
02DBB22	西洋倫理学II(1)B		1	1.5	1-5				引き続きハイデガーを中心に、デリダ、ハーバーマスなど現代西洋倫理学の諸問題を論じる。	2013年度より4年おき開講。
02DBB23	西洋倫理学演習(1)A		2	1.5	1-5				トマス・アクィナスの原典を講読する。	2013年度より4年おき開講。
02DBB24	西洋倫理学演習(1)B		2	1.5	1-5				引き続きトマス・アクィナスの原典を講読する。	2013年度より4年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DBB27	西洋倫理思想史I演習(1)A	2	1.5	1-5					キリスト教と自由学芸との関係について文献を講読する。	2013年度より4年おき開講。
02DBB28	西洋倫理思想史I演習(1)B	2	1.5	1-5					引き続きキリスト教と自由学芸との関係について文献を講読する。	2013年度より4年おき開講。
02DBB35	日本倫理思想史演習(1)A	2	1.5	1-5					鈴木大拙『日本的靈性』を精読する。	2013年度より4年おき開講。
02DBB36	日本倫理思想史演習(1)B	2	1.5	1-5					引き続き鈴木大拙『日本的靈性』を精読する。	2013年度より4年おき開講。
02DBE11	東洋倫理学II(2)A	1	1.5	1-5					古代日本思想に関わる重要な文献を講読する。	2014年度より4年おき開講。
02DBE12	東洋倫理学II(2)B	1	1.5	1-5					引き続き古代日本思想に関わる重要な文献を講読する。	2014年度より4年おき開講。
02DBE15	東洋倫理思想史(2)A	1	1.5	1-5					『礼記』を訓む。中国語もしくは訓読いづれによる読解力が必要。	2014年度より4年おき開講。
02DBE16	東洋倫理思想史(2)B	1	1.5	1-5					引き続き『礼記』を訓む。中国語で読み、さらに訓読するので、その双方もしくはいずれかの知識が必要。	2014年度より4年おき開講。
02DBE19	西洋倫理学I(2)A	1	1.5	1-5					カントの『実践理性批判』をドイツ語原典で講読する。	2014年度より4年おき開講。
02DBE20	西洋倫理学I(2)B	1	1.5	1-5					引き続きカントの『実践理性批判』をドイツ語原典で講読する。	2014年度より4年おき開講。
02DBE21	西洋倫理学II(2)A	1	1.5	1-5					ハイデガーを中心に、デリダ、ハーバーマスなど現代西洋倫理学の諸テクストを読む。	2014年度より4年おき開講。
02DBE22	西洋倫理学II(2)B	1	1.5	1-5					引き続きハイデガーを中心に、デリダ、ハーバーマスなど現代西洋倫理学の諸テクストを読む。	2014年度より4年おき開講。
02DBE23	西洋倫理学演習(2)A	2	1.5	1-5					トマス・アクィナスの原典を講読する。	2014年度より4年おき開講。
02DBE24	西洋倫理学演習(2)B	2	1.5	1-5					引き続きトマス・アクィナスの原典を講読する。	2014年度より4年おき開講。
02DBE27	西洋倫理思想史I演習(2)A	2	1.5	1-5					キリスト教と自由学芸との関係について文献を講読する。	2014年度より4年おき開講。
02DBE28	西洋倫理思想史I演習(2)B	2	1.5	1-5					引き続きキリスト教と自由学芸との関係について文献を講読する。	2014年度より4年おき開講。
02DBE35	日本倫理思想史演習(2)A	2	1.5	1-5					近代日本哲学の代表的文献を講読する。	2014年度より4年おき開講。
02DBE36	日本倫理思想史演習(2)B	2	1.5	1-5					引き続き近代日本哲学の代表的文献を講読する。	2014年度より4年おき開講。
02DBH11	東洋倫理学II(3)A	1	1.5	1-5	春ABC	金3		伊藤 益	古代日本思想に関わる重要な文献を講読する。	2015年度より4年おき開講。
02DBH12	東洋倫理学II(3)B	1	1.5	1-5	秋ABC	金3		伊藤 益	引き続き古代日本思想に関わる重要な文献を講読する。	2015年度より4年おき開講。
02DBH19	西洋倫理学I(3)A	1	1.5	1-5	春ABC	月3		千葉 建	ドイツ近現代思想の代表的文献を原典講読する。	2015年度より4年おき開講。
02DBH20	西洋倫理学I(3)B	1	1.5	1-5	秋ABC	月3		千葉 建	引き続きドイツ近現代思想の代表的文献を原典講読する。	2015年度より4年おき開講。
02DBH21	西洋倫理学II(3)A	1	1.5	1-5	春ABC	水2		五十嵐 沙千子	ハイデガーを中心に、デリダ、ハーバーマスなど現代西洋倫理学の諸テクストを読む。	2015年度より4年おき開講。
02DBH22	西洋倫理学II(3)B	1	1.5	1-5	秋ABC	水2		五十嵐 沙千子	引き続きハイデガーを中心に、デリダ、ハーバーマスなど現代西洋倫理学の諸テクストを読む。	2015年度より4年おき開講。
02DBH23	西洋倫理学演習(3)A	2	1.5	1-5	春ABC	月5		桑原 直巳	トマス・アクィナスの原典を講読する。	2015年度より4年おき開講。
02DBH24	西洋倫理学演習(3)B	2	1.5	1-5	秋ABC	月5		桑原 直巳	引き続きトマス・アクィナスの原典を講読する。	2015年度より4年おき開講。
02DBH27	西洋倫理思想史I演習(3)A	2	1.5	1-5	春ABC	水6		桑原 直巳	キリスト教と自由学芸との関係について文献を講読する。	2015年度より4年おき開講。
02DBH28	西洋倫理思想史I演習(3)B	2	1.5	1-5	秋ABC	水6		桑原 直巳	引き続きキリスト教と自由学芸との関係について文献を講読する。	2015年度より4年おき開講。
02DBH35	日本倫理思想史演習(3)A	2	1.5	1-5	春ABC	金2		伊藤 益	近代日本哲学の代表的文献を講読する。	2015年度より4年おき開講。
02DBH36	日本倫理思想史演習(3)B	2	1.5	1-5	秋ABC	金2		伊藤 益	引き続き近代日本哲学の代表的文献を講読する。	2015年度より4年おき開講。

宗教学・比較思想学分野

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DBC03	宗教学I(1)A	1	1.5	1-5					宗教学の中心的論議である「世俗化論」を手がかりにして、現代社会における宗教について検討する。	2013年度より4年おき開講。
02DBC04	宗教学I(1)B	1	1.5	1-5					宗教学理論の中心である「世俗化論」を手がかりにして、現代社会における宗教について検討する。	2013年度より4年おき開講。
02DBC05	宗教学I演習(1)A	2	1.5	1-5					現代日本社会における先祖祭祀の変動を手がかりに、現代日本における宗教の変動を検討する。	2013年度より4年おき開講。
02DBC06	宗教学I演習(1)B	2	1.5	1-5					現代日本社会における先祖祭祀を手がかりにして、現代日本の宗教変動を検討する。	2013年度より4年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DBC09	宗教学II演習(1)A	2	1.5	1-5					奇数年度は、「宗教と社会」の領域、偶数年度は、「宗教と他界」の領域に焦点を絞り、それぞれのトピック、課題、方法を概観する。教員の講義を中心に進める。	2013年度より4年おき開講。
02DBC10	宗教学II演習(2)B	2	1.5	1-5					社会的宗教と他界的宗教の両面に配慮しつつ、受講者それぞれのテーマ設定で、研究発表をしてもらい、相互に検討を加える。ゼミ全体として、研究方法の多様性を重視したい。	2013年度より4年おき開講。
02DBC11	宗教学III(1)A	1	1.5	1-5					宗教学の理論と方法についての議論を、具体的な宗教史ならびに人類学的資料に照らし合わせながら、進める。	2013年度より4年おき開講。
02DBC12	宗教学III(1)B	1	1.5	1-5					宗教学の理論と方法についての議論を、具体的な宗教史ならびに人類学的資料に照らし合わせながら、進める。	2013年度より4年おき開講。
02DBC21	宗教思想史I演習(1)A	2	1.5	1-5					インド仏教哲学の原典テキストを講読する。今年度は『中辺分別論』『真理綱要』などを取りあげる予定。サンスクリットとチベット語の知識を前提とする。	2013年度より4年おき開講。
02DBC22	宗教思想史I演習(1)B	2	1.5	1-5					インド仏教哲学の原典テキストを講読する。今年度は『中辺分別論』『真理綱要』などを取りあげる予定。サンスクリットとチベット語の知識を前提とする。	2013年度より4年おき開講。
02DBC31	宗教哲学(1)A	1	1.5	1-5					近代ないし現代の宗教哲学に関する文献を講読し、解説を加えつつ、受講者とともにその内容について議論する。	2013年度より4年おき開講。
02DBC32	宗教哲学(1)B	1	1.5	1-5					近代あるいは現代の宗教哲学に関する文献を講読し、解説を加えつつ、その内容について受講者とともに議論する。	2013年度より4年おき開講。
02DBC37	比較思想学I(1)A	1	1.5	1-5					『仏地経論』の漢訳の読解をチベット語訳と対比させて講読する。玄奘訳の語学および思想的特徴を見極める。	2013年度より4年おき開講。
02DBC38	比較思想学I(1)B	1	1.5	1-5					『仏地経論』の漢訳の読解をチベット語訳と対比させて講読する。玄奘訳の語学および思想的特徴を見極める。	2013年度より4年おき開講。
02DBC39	比較思想学I演習(1)A	2	1.5	1-5					『仏地経論』のチベット語訳の読解を漢訳と対比させて講読する。チベット語訳の語学の特徴と著者戒賢の思想的特徴を見極める。	2013年度より4年おき開講。
02DBC40	比較思想学I演習(1)B	2	1.5	1-5					『仏地経論』のチベット語訳の読解を漢訳と対比させて講読する。チベット語訳の語学の特徴と著者戒賢の思想的特徴を見極める。	2013年度より4年おき開講。
02DBC45	比較思想学III(1)A	1	1.5	1-5					チベット語資料を用い、チベット仏教の思想と歴史について、インド仏教からの継続性、発展性を問いながら、考察する。	2013年度より4年おき開講。
02DBC46	比較思想学III(1)B	1	1.5	1-5					チベット語資料を用い、チベット仏教の思想と歴史について、周辺地域との文化的関わりとともに、考察する。	2013年度より4年おき開講。
02DBC47	比較思想学III演習(1)A	2	1.5	1-5					サンスクリット語文献を用い、インド仏教の思想と他宗教との比較と共に考察する。	2013年度より4年おき開講。
02DBC48	比較思想学III演習(1)B	2	1.5	1-5					サンスクリット語文献を用い、インド仏教の思想と他宗教との比較と共に考察する。	2013年度より4年おき開講。
02DBC49	宗教学実習(1)	5	1.5	1-5					日本の寺社仏閣、聖地などを訪れて、宗教学的視点から宗教の実際の動態を分析、理解することにつとめる。	2013年度より4年おき開講。
02DBF03	宗教学I(2)A	1	1.5	1-5					現代宗教の分析するための宗教社会学の理論を学ぶ。	2014年度より4年おき開講。
02DBF04	宗教学I(2)B	1	1.5	1-5					現代宗教の分析するための宗教社会学の理論を学ぶ。	2014年度より4年おき開講。
02DBF05	宗教学I演習(2)A	2	1.5	1-5					現代日本の宗教状況を検討するために適切な現象を選択し、議論する。	2014年度より4年おき開講。
02DBF06	宗教学I演習(2)B	2	1.5	1-5					宗教とツーリズムの問題を考えるための理論的文献を読む。	2014年度より4年おき開講。
02DBF09	宗教学II演習(2)A	2	1.5	1-5					奇数年度は、「宗教と社会」の領域、偶数年度は、「宗教と他界」の領域に焦点を絞り、それぞれのトピック、課題、方法を概観する。教員の講義を中心に進める。	2014年度より4年おき開講。
02DBF10	宗教学II演習(2)B	2	1.5	1-5					社会的宗教と他界的宗教の両面に配慮しつつ、受講者それぞれのテーマ設定で、研究発表をしてもらい、相互に検討を加える。ゼミ全体として、研究方法の多様性を重視したい。	2014年度より4年おき開講。
02DBF11	宗教学III(2)A	1	1.5	1-5					宗教学の理論と方法についての議論を、具体的な宗教史ならびに人類学的資料に照らし合わせながら、進める。	2014年度より4年おき開講。
02DBF12	宗教学III(2)B	1	1.5	1-5					宗教学の理論と方法についての議論を、具体的な宗教史ならびに人類学的資料に照らし合わせながら、進める。	2014年度より4年おき開講。
02DBF16	宗教学IV(2)B	1	1.5	1-5					中央アジア地域の仏教思想に関する講義。	2014年度より4年おき開講。 英語で授業。
02DBF18	宗教学IV演習(2)B	2	1.5	1-5					密教文献講読。	2014年度より4年おき開講。 英語で授業。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DBF19	宗教思想史I(2)A	1	1.5	1-5					インド思想史を論じた欧文の著作を講読しながら、インド哲学・宗教史の諸問題を解説する。	2014年度より4年おき開講。
02DBF20	宗教思想史I(2)B	1	1.5	1-5					引き続き、インド思想史を論じた欧文の著作を講読しながら、インド哲学・宗教史の諸問題を解説する。	2014年度より4年おき開講。
02DBF21	宗教思想史I演習(2)A	2	1.5	1-5					インド仏教哲学の原典テキストを講読する。今年度は『中辺分別論』『真理綱要』などをとりあげる予定。サンスクリットとチベット語の知識を前提とする。	2014年度より4年おき開講。
02DBF22	宗教思想史I演習(2)B	2	1.5	1-5					インド仏教哲学の原典テキストを講読する。今年度は『中辺分別論』『真理綱要』などをとりあげる予定。サンスクリットとチベット語の知識を前提とする。	2014年度より4年おき開講。
02DBF31	宗教哲学(2)A	1	1.5	1-5					近代ないし現代の宗教哲学に関する文献を講読し、解説を加えつつ、受講者とともにその内容について議論する。	2014年度より4年おき開講。
02DBF32	宗教哲学(2)B	1	1.5	1-5					近代ないし現代の宗教哲学に関する文献を講読し、解説を加えつつ、受講者とともにその内容について議論する。	2014年度より4年おき開講。
02DBF37	比較思想学I(2)A	1	1.5	1-5					瑜伽行唯識文献を講読経典として扱う。	2014年度より4年おき開講。
02DBF38	比較思想学I(2)B	1	1.5	1-5					瑜伽行唯識文献を講読経典として扱う。	2014年度より4年おき開講。
02DBF39	比較思想学I演習(2)A	2	1.5	1-5					『唯識三十頌』安慧釈の講読をおこなう。	2014年度より4年おき開講。
02DBF40	比較思想学I演習(2)B	2	1.5	1-5					『唯識三十頌』安慧釈の講読をおこなう。	2014年度より4年おき開講。
02DBF45	比較思想学III(2)A	1	1.5	1-5					比較思想のトピックに関する各自の研究を英語でまとめ、それに基づいて議論する。英語以外の外国語の知識を問わない。	2014年度より4年おき開講。
02DBF46	比較思想学III(2)B	1	1.5	1-5					チベット語資料を用い、チベット仏教の思想と歴史について、インド仏教からの継続性、発展性を問いながら、考察する。	2014年度より4年おき開講。
02DBF47	比較思想学III演習(2)A	2	1.5	1-5					サンスクリット語文献を用い、インド仏教の思想と他宗教との比較と共に考察する。	2014年度より4年おき開講。
02DBF48	比較思想学III演習(2)B	2	1.5	1-5					サンスクリット語文献を用い、インド仏教の思想と他宗教との比較と共に考察する。	2014年度より4年おき開講。
02DBF49	宗教学実習(2)	5	1.5	1-5					日本の聖地を訪れ、宗教の現場に接する事を目的とする。	2014年度より4年おき開講。
02DBJ03	宗教学I(3)A	1	1.5	1-5	春ABC	月5		山中 弘	近現代の欧米及び日本の宗教状況を分析する理論的枠組を検討するために、宗教学の近年の理論的著作を読む。	2015年度より4年おき開講。
02DBJ04	宗教学I(3)B	1	1.5	1-5	秋ABC	月5		山中 弘	近現代の欧米及び日本の宗教状況を分析する理論的枠組を検討するために、宗教学の近年の理論的著作を読む。	2015年度より4年おき開講。
02DBJ05	宗教学I演習(3)A	2	1.5	1-5	春ABC	月5		山中 弘	宗教学の視点から、宗教とツーリズム、聖地の問題について検討する。	2015年度より4年おき開講。
02DBJ06	宗教学I演習(3)B	2	1.5	1-5	秋ABC	月3		山中 弘	宗教学の視点から、宗教とツーリズム、聖地の問題について検討する。	2015年度より4年おき開講。
02DBJ11	宗教学III(3)A	1	1.5	1-5	春ABC	木6		木村 武史	宗教学の理論と方法についての議論を、具体的な宗教史ならびに人類学的資料に照らし合わせながら、進める。	2015年度より4年おき開講。
02DBJ12	宗教学III(3)B	1	1.5	1-5	秋ABC	木6		木村 武史	宗教学の理論と方法についての議論を、具体的な宗教史ならびに人類学的資料に照らし合わせながら、進める。	2015年度より4年おき開講。
02DBJ19	宗教思想史I(3)A	1	1.5	1-5	春ABC	火5		小野 基	インド哲学史を扱った欧文の文献を講読する。	2015年度より4年おき開講。
02DBJ20	宗教思想史I(3)B	1	1.5	1-5	秋ABC	火5		小野 基	インド哲学史を扱った欧文の文献を講読する。	2015年度より4年おき開講。
02DBJ21	宗教思想史I演習(3)A	2	1.5	1-5	春ABC	火6		小野 基	インド仏教哲学のサンスクリット原典を講読する。春学期は、『撰真実論』をよむ。サンスクリット語とチベット語の知識が必要。	2015年度より4年おき開講。
02DBJ22	宗教思想史I演習(3)B	2	1.5	1-5	秋ABC	火6		小野 基	インド仏教哲学のサンスクリット原典を講読する。秋学期は、『量評釈莊嚴』をよむ。サンスクリット語とチベット語の知識が必要。	2015年度より4年おき開講。
02DBJ31	宗教哲学(3)A	1	1.5	1-5	春ABC	月6		保呂 篤彦	近代ないし現代の宗教哲学に関する文献を講読し、解説を加えつつ、受講者とともにその内容について議論する。	2015年度より4年おき開講。
02DBJ32	宗教哲学(3)B	1	1.5	1-5	秋ABC	月6		保呂 篤彦	近代ないし現代の宗教哲学に関する文献を講読し、解説を加えつつ、受講者とともにその内容について議論する。	2015年度より4年おき開講。
02DBJ37	比較思想学I(3)A	1	1.5	1-5	春ABC	火4		佐久間 秀範	瑜伽行唯識文献を講読経典として扱う。	2015年度より4年おき開講。
02DBJ38	比較思想学I(3)B	1	1.5	1-5	秋ABC	火4		佐久間 秀範	瑜伽行唯識文献を講読経典として扱う。	2015年度より4年おき開講。
02DBJ39	比較思想学I演習(3)A	2	1.5	1-5	春ABC	火3		佐久間 秀範	『唯識三十頌』安慧釈の講読をおこなう。	2015年度より4年おき開講。
02DBJ40	比較思想学I演習(3)B	2	1.5	1-5	秋ABC	火3		佐久間 秀範	『唯識三十頌』安慧釈の講読をおこなう。	2015年度より4年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DBJ45	比較思想学III(3)A	1	1.5	1 - 5	春ABC	木5		吉水 千鶴子	チベット語資料を用い、チベット仏教の思想と歴史について、インド仏教からの継続性、発展性を問いながら、考察する。	2015年度より4年おき開講。
02DBJ46	比較思想学III(3)B	1	1.5	1 - 5	秋ABC	木5		吉水 千鶴子	比較思想のトピックに関する各自の研究を英語でまとめ、それに基づいて議論する。英語以外の外国語の知識を問わない。	2015年度より4年おき開講。
02DBJ47	比較思想学III演習(3)A	2	1.5	1 - 5	春ABC	木6		吉水 千鶴子	サンスクリット語文献またはパーリ語文献を用い、インド仏教の思想と他宗教との比較と共に考察する。	2015年度より4年おき開講。
02DBJ48	比較思想学III演習(3)B	2	1.5	1 - 5	秋ABC	木6		吉水 千鶴子	サンスクリット語文献またはパーリ語文献を用い、インド仏教の思想と他宗教との比較と共に考察する。	2015年度より4年おき開講。
02DBJ49	宗教学実習(3)	5	1.5	1 - 5	秋学期	集中		山中 弘	聖地、教団などを訪れ、それを通じて生きた宗教現象に触れることで宗教現象の理解を深める。事前に面談を必要とする。	2015年度より4年おき開講。